

【研究シーズテーマ】

クラゲ類と共生生物の 種間関係に関する研究

 環境学部 地球環境学科 講師 **近藤 裕介**


Keyword

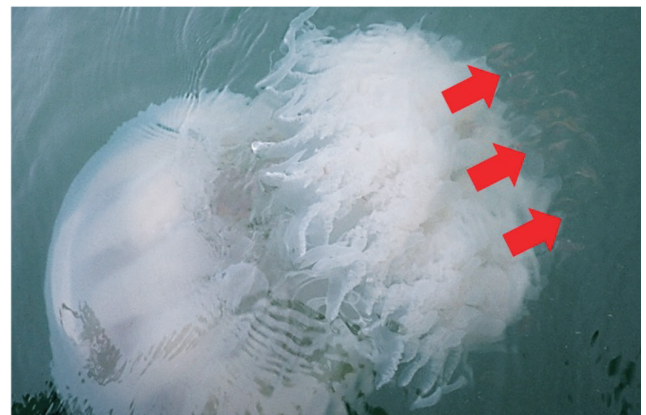
刺胞動物／片利共生／被食／捕食


【研究シーズの概要】

クラゲ類には多くの生物が共生していることが知られていますが、その中にはアジ類やイボダイ、シマイシガニのような水産重要種が含まれています。これらの共生生物は、クラゲ類と過ごすことで捕食者から身を守っていると考えられています。また、一部はクラゲ類を餌としても利用しています。これらクラゲ類と共生生物の種間関係を明らかにすることで、水産重要種の資源量管理に貢献し、安定的な利用を可能にします。



ユウレイクラゲとイボダイ



ヒゼンクラゲとクロボシヒラアジ

【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 種間関係を解明することで水産物の初期生残率の向上、資源量増加に貢献
- 被食-捕食関係を明らかにすることで新たな餌料開発に展開可能

【産業界での展開・用途】

- 水産業界での餌料生物としての利用
- 水産業界での未利用資源活用としての可能性

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp